

道央家族会報 17 号

ホームページ URL

<http://do-ren.ciao.jp/do-o.html>



* ごあいさつ * 道央知的障がい児・者家族会 会長 畑 誠一

初冬の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、道央家族会の運営にご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨今、また新型コロナウイルスが感染拡大していることなどから、各施設においても、夫々制約があり、行事等の開催もままならない状況で、子供たちも外出がままならない中でも頑張っています。それを思うと不憫でなりません、今少しの辛抱かと思えます。(親御さんも同様と思えます) 因みに、ハロー・エンジョイでは近隣施設でクラスターが増えていることで帰省ができない状況です。年末年始は帰省が出来ることを願っています。(当面は11月27日ですが、延長の可能性もあります)

これからも感染拡大の防止マニュアルを実践し、一日も早く終息し、普段の生活に戻れることを切に願っております

会員の皆様、関係各位の皆様、ご自愛くださり、共に乗り越えていきましょう。

* 待っていたイベント * 新篠津ふれあいの苑保護者会 会長 佐藤 一明

例年だと、7月第1土曜日に「ふれあい祭り」の予定で、1年で1番の多くの人が集まる行事です。子供達はコロナという感染症を理解の差はありますが、外出、帰省等を我慢している中、今年はどうなのか職員に聞いた人もいたようです。

親や多くの人に会え、一緒に食べ、催し物を楽しむ1日であることで、待っていたのではと思います。コロナ禍で、施設長始め、全職員で多くの制約状況の中、祭りを開催するか否か、早くから話し合いを行ったそうです。

子供達と職員だけの「ふれあい祭り」となりましたが、良かった、楽しかったとの声が多く写真等からもうなずけました。

我が家の息子もコロナはインフルエンザと同じと理解している状態で、説明するにも四苦八苦です。

7月4日に体育館をメインに苑全体で手洗い、座席、換気等の対策の中、焼き鳥付の豪華な祭り弁当で食事し、ミニ模擬店(ジュース、かき氷、くじ引き)を楽しみ、子供達の「よさこ

いソーラン」からショーが始まり、日常の様子のスライドや各事業所職員のアトラクション等で盛り上がり、獅子舞、ひょっとこ踊りも出て、怖いやらおかしいやらで、11～13時の予定でしたが、30分はオーバーしたようです。子供達は気分転換になり、職員には感謝いたします。多くの施設も行事が中止・縮小だと思えます。

怖い感染症で早く薬、ワクチンが出来る事を待ち、感染しないよう気を付けながらの生活となりそうです。辛抱と工夫で乗り越えましょう。



*** とみがおか・共栄 合同イベント * 北ひろしま福祉会 共栄緑の郷**

今年は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、例年行っているグリーンフェスティバルを開催することができませんでした。

“利用者はお祭りを楽しみにしている。なんとか開催できないだろうか”と、グリーンフェスティバル実行委員会で協議をしました。その中で今回、とみがおか・共栄合同イベントを企画しました。当日は、職員を中心に来店し、焼鳥・ラーメン・焼きそば・フランクフルト等、利用者が好きな食事を用意して、お腹いっぱいになるまで楽しんでいただきました。お店でシールを貼ってもらい、どのお店に行ったか一目でわかるようにスタンプカードも用意しました。食事以外にも、くじ引きやカラオケ大会もあり、カラオケ大会では、ステージ上で歌っている方、歌に合わせて踊っている方もいて、大盛況で終えることができました。

今回、家族の方には参加を見送っていただいたの開催となりました。

**** 編集後記 ****

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、それぞれの施設と職員が一丸となって、懸命に努力していることが伝わってきます。帰省や面会を、利用者も家族も我慢しています。

どんなに気を付けていても、いつ、どこで、だれが感染してもおかしくない with コロナの時代に、より良い生き方を模索したいものですね。